

第六期長期計画・調整計画市民会議（第3回）会議録

グループ討議：都市基盤分野

■日時 令和4年7月3日（日）午後1時から5時

■場所 武蔵野市役所 812 会議室

1 開会、事務連絡

事務局より本日の会議の進め方等について説明した。

2 グループ討議

「平和・文化・市民生活、緑・環境、都市基盤」の3分野について、グループに分かれ議論を行った。各分野の議論を始める前に、事務局よりその分野の現状の課題やこれまでの取組みについて説明をおこなった。

●都市基盤分野

【Aグループ】

○F委員

進め方としましては、D委員から回っていただきたいんですけども、自分の意見を、最終的にはボードに貼りたいんですけども、一応紙を持ってきましたので、この辺に張っていただいて説明していただく。自分の意見、課題を持っているよという方は、私も同じですみたいな感じで貼って行ってください。

それでは、お願いいたします。

○D委員

大きく課題を3つ挙げています。都市基盤の中で、駅前の「まちなかウォーカーブル」ということが各駅周辺でうたわれてはいるんですけども、歩行者中心のまちづくりの進め方について、再開発とか大幅な整備だけに頼るのではなくて、もう少しきめの細かなやり方があるのではないかとということで、大規模な開発に頼るだけではない何か考えていかなければいけないというのが1つ目です。

それから、ウォーカーブルにも関連するんですけども、駅周辺のにぎわいの創出がうたわれておりますけれども、にぎわいだけではなくて、武蔵野市の魅力とすると、無秩序に

にぎわいが広がるだけでなく、美しいまち、美しい景観を残していかなければいけない。あるいは、美しい景観に整備していかなければいけないということで、無秩序な景観にならないようにというのが課題。

それに関連して3つ目ですが、駅周辺はどの3駅も中心的なところの外側に住宅地があるじゃないですか。周辺の住宅地へのにぎわいとか景観の、無秩序にはならないと思うんですけども、そういうものの影響ですね。いかに駅周辺をこれからまちづくりする上で、周辺の住宅地との親和性を担保していくかというのが課題かなとところで挙げさせていただきました。

○F委員

これと似たようなテーマで書かれた方はいらっしゃいますか。

○A委員

私は何を書いたかというのと、今、D委員がおっしゃったように、吉祥寺駅の周辺に限ったんですけども、活気があって非常にいいんですが、人の流れがあまりにも脈絡がなく、土日はすごく疲れる場所なので、土日は行きたくない場所になっている。人の流れがもう少しスムーズになるような工夫がほしいなど。具体的にどういうふうにしたらいいかというのはわからないですけども。

それから、もう1つ関連するのは、自転車、特に電動アシストが今は主流になってきて、歩道の中でどんどんスピードを上げて走っていて、歩行者がゆったりと歩ける場所ではなくなっていると。自転車に邪魔されない歩道の整備をしてほしいなというのを挙げました。

○B委員

自転車の問題というのと、歩道の部分にできればいいのかもしれないけれども、とりあえず自転車専用の路側帯を、今、境の南側の道路ではあるんですね。あれを見ていると、歩行者と自転車がはっきり分かれていて、自動車もそれ。極めて安全に見える。だから、幅のある道には自転車専用路側帯を設けてほしい気はしております。

○E委員

関連で、まちづくりの進め方とちょっと離れるかもしれませんが、吉祥寺、中央地区、境地区で、そのエリアごとにもまちづくりの地域差があるのではないかと。吉祥寺が一番ボリューム、三鷹はこう、境はこうというやり方もあるのではないかと。

○F委員

特色を出していいということ。

○E委員

特色があるといいんですけども、なおかつ、周辺のまちづくりだから、駅周辺のまちづくりだけでも、吉祥寺エリア、中央エリア、境エリアといっても、縦に大きく。

○F委員

駅から離れていてもということですね。

○E委員

駅周辺だけの話になっているけれども、一応枠だけで括っていないかというところが1つ気になっています。

あと、自転車。それにあわせて、同じように、ちょっと違うんだけど、交通整備。ムーバスとか、自転車とか、そういうのも駅中心になって、そこからのところは考えていない部分がある。

あと、自転車の件は、生活道路での、さっきおっしゃった、ママチャリじゃないけれども、自転車マナー。ママチャリの人には平気で40キロぐらい出ちゃうじゃないですか。パワーのある人だと。

あと、これも発表したんですけども、五日市街道があつて、玉川上水があつて、そのこちらに生活道路がある。それが一方通行であるんだけど、一方通行は、都会から田舎のほうに行く道路なんですけれども、朝の時間帯は、例えば、7時台、8時台は通学路になっていて、車が通っていないんです。逆に、小金井のほうから都心に向かって、通学路、通勤路となっている。自転車が我が物顔じゃないけれども、車が来ないから、人しかいないから、走りやすいわけです。そうすると、地区で生活している人については非常に危ない状況がある。

○F委員

ありがとうございます。

○C委員

共通だなと思ったのは、吉祥寺の周辺の開発というか、吉祥寺の南口のバス通りの狭さというか、あそこは、いいかげん、そろそろ何とかしなさいよと思うところです。それが地域の景観とかにぎわいとかを壊さないような感じで進んでいったらいいのかなと思う。

あと、三鷹の辺りですけども、駐輪場がどんどんなくなっているんです。そこに何かを建てるのはわかるけれども、そこに停めていた人たちはどこに停めたらいいのかと。つ

ぶすのはいいけど、確保もちゃんとこれからしておいていただきたいなと思って。変なところに停めていると、すぐ持っていかれてしまうんですね。3,000 円とか払わされるんですよ。それよりも停める場所の確保はしておいていただきたいと思いました。

○B委員

それと全く同じことです。井の頭通りの小田急バスの1号から7号まで停留所があるんですけども、それを何とか移動させて、そこに2車線で通りやすいような道路にしなければいけないというのを前々から言われているんですね。南北のガードの下を利用して、今、タクシーをとめている場所。北口と南口。あそこをほかのところに持っていったら、バス7台の停留所はできるんですよ。ほかのビルの駐車場もありますし、とめるスペースがあるんです。だから、何もそんなにお金をかけなくたって、タクシー会社にちょっとご迷惑かもしれないけれども、ちょっと移動してもらおう。そういったものづくり方をすれば。今、すごくこれが問題になっている。

それと、次の公会堂。南口の再開発に関しては、公会堂。先ほど言っていた。お役所のほうが公会堂の内容を設計段階から我々市民の意見をちゃんと聞いてくれて、いろいろなことをやらないと、今みたいに中途半端にどこかを手直ししようとか、更地にして建て直そうかという、4つの案があるんですけども、その案の中身すら公表していない。公会堂の前に大型バスが1台入れるものをつくるから、それで少しは井の頭通りの見通しが悪くなっているところを少しは解除できるというけれども、できるわけじゃない。何を考えているんだという。

○F委員

新しいところですね。後ほど議論いたしましょう。

では、関連性があるものは大丈夫ですね。これは何でしょう。井の頭通りの話ですね。まさに同じ。井の頭通りの話は別個にしましょうか。

○A委員

あそこは、車で走っていても2車線とは思えない。そのぐらい近づけないと。

○C委員

本当ですね。よく事故が起きないと思って。

○B委員

御殿山に左折して出てくるときに、信号、あのバスがそろそろ出るんだったら、あのバスの後ろに行かなければいけないけれども、あのバスが停まっているんだったら、前へ行

かなければいけない。年がら年中、判断に迷わされる。

○D委員

おまけにバスは通るしね。

○C委員

バスは通るし、人はいっぱいいるし、本当によく事故が起きない。

○C委員

私は、あとは、E委員が言っていたかもしれないんですけども、交通僻地と言われている地域の利便性を高めるような工夫がこれから必要ではないかと思っています。

あと、学校近くの通学路がしっかり確保されていないところもあるんですね。うちのほうは千川小学校があるんですけども、片側にしか歩道がついていなかったり。子どもたちはそこを渡って歩道のあるほうに行けばいいんですけども、そこまで行かなくて、歩道のないほうを近いから行ってしまふ。学校近くの通学路をもうちょっと整備してほしい。

あと、大規模な工事があるときの、「決まりましたよ」じゃなくて、決まる前に、こんな工事があるんだけどどうだろうか、何か問題はないだろうか、心配事はないだろうかということをやってほしいなと思います。実は今、石神井川の調整池をつくるということで、石神井川のほうから青梅街道の下、大師通りという大きな通りが北まで抜けたんですけども、その地下を掘って、貯水池みたいなものを、トンネルをつくって、そこに雨水を流していく、はけてくるという工事を東京都がやると言うんです。その立坑を中央公園につくる。だから、大師通りからずっと地下を掘って、中央公園の下を通して、中央公園の南側に立坑をつくる。もう決まっているんです。えーっ？みたいな。その近所の人はどうするの。中央公園使えるの？みたいなことになっていたりとか。

一番えっ？と思ったのは、中央公園は中島飛行機製作所の跡地というところがあって、その地下は掘って大丈夫なの？と。何か埋まってない？と。

○B委員

何か埋まってない？というか、もともとある地下が埋められていない。

○C委員

そうですね。私は、あの地下は土だけではないと思っているんです。そこの住宅を建てるということでさえ、何か出てきたりするわけですよ。そんなところを掘って大丈夫？と。

○A委員

不発弾を間違えて。

○C委員

だから、もっと住民に聞きなよ、と非常に思いました。

○B委員

あの近辺、結構、不発弾が出たからね。不発弾処理で住民を退避させた。自衛隊が来るまで。結構出ていますよ、あそこら辺は。

○C委員

掘り出してしまうととめられないと言うんです。とめられないのはいいけれども、出てきたときにどうするのと。そういうのがとても気になります。

○F委員

ありがとうございます。ほかには大丈夫ですか。

○B委員

あと、無電柱化と計画道路に入っているものの推進状況がどうなっているのか。

○F委員

計画道路の推進状況というのは、要は情報がないということですね。

○B委員

うん。あと、道路の無電柱化。市としては、市道の無電柱化しか言っていない。都道の無電柱化は言っていない。

○F委員

無電柱化を推進すべきという。

○B委員

するという方針でいるんだから。

○F委員

私が伺いたいのは、無電柱化がどういう問題なのかという。

○B委員

無電柱化をどのぐらいまで計画的に推進されているのか。

○F委員

なるほど。承知しました。

○B委員

あとは、先ほど石神井川と言ったから、石神井川と直接関係ないけれども、武蔵野市の

汚水の70%が女子大通りを最終的に通って善福寺川に流れているんです。八幡町なのか、関前なのか、定かではないんだけど、もうちょっとこら辺の水を石神井川のほうに持っていってもらおうとか、善福寺川に流れる負担を軽くしたほうがいいのではないかと考えている。万が一、震災があった場合には、うちの目の前の道が崩れたら、そっちに水を流さないでくださいという話になってしまう。下水管の工事の図があったけれども、こんなただの補強をしたにすぎないんです。周りのもとのコンクリートは、半世紀も前につくったコンクリートだから、ダンプカーが通れるぐらいの穴ですからね。このコンクリートが崩れてしまったら、中だけオーバーホールしたって、結果的には崩れてしまう。そういった意味合いでは、極力、少なくとも水量ぐらいは日ごろからほかの川のほうへ流せるように、うちのほうの表の通りの負担を軽くしてほしい。

○F委員

ちょっとずれるかもしれませんが、「魅力ある都市景観」の「魅力」とはなんだろう。これはよくわからない。「魅力ある」とただつけただけだったらいいのか。雑然とした街並みが魅力なのかもしれない。そこら辺はよくわからないので、そこら辺をオープンにしていきたい。

それに似たようなことで、「個性あるまちづくり」の「個性」とは何？その辺は言っていたきたいなということ。

それから、まちなかでどこが安全なのか、よくわからない。建物とか、崩れやすいところがわかっていると思うんです。どこにとりあえずいけば大丈夫なのか。どこの建物なら安全なのかというのがよくわからないということ。

それから、これは水道の話ですけれども、都営水道と一元化するという話が出ていますけれども、このメリット・デメリットがよくわからない。一元化することで何か解決します、みたいなことが書かれていますけれども、それがよくわからないということです。

それから、道路通報システムというものがあるということを知りました。

○A委員

それはどういうことですか。

○E委員

武蔵野市のLINEで写真を撮って送ると、位置もわかって、何をしてほしいかも写真で。

○F委員

ここが壊れていますよということを言えるというものがあって、そんなもしいいものがあることを知らなかった。

あとは、自転車マナーと一緒にすけれども、マナー的なことと近いですね。全年齢的な交通安全指導ができているのかな。子どもたちには学校でできる。その他の年齢の方。高齢者だったら高齢者施設でやればいいのかもしいないし、ただ、真ん中がどうなのかな。そういったところ。

○A委員

よく、警視庁の看板があるじゃないですか。自転車と自転車の事故がありました。あれを見ると、結構起きているんだなど。

○B委員

よく、子どもを後ろに乗せておいて、一時停止をしないで平気で渡るのがいる。そういうのが一番困る。子どものことを考えて運転したほうがいいのではないかと思うけど。

○F委員

まとめると、大規模事業の事前周知が必要だよという話。あと、吉祥寺駅南口問題。あとは、通学路。交通利便性の問題。駅周辺だけではなくて、市境辺りまで、どう交通利便性を確保するか。ウォークブルのまちづくりをするにはどうしたらいいかという話。エリアごとのまちづくりの話。景観の話。自転車マナー。加えて駐輪場。下水問題。あとは無電柱化はどこまで進んでいるか。

これから、あまり時間はないんですが、それぞれについて、こうしたらいいのではないかというご意見があれば、ぜひおっしゃっていただきたい。

大規模事業の事前周知というのは、そのものかなと思うんですね。これをやってくればいいという話。公会堂の話に関してはそういうこと。

○B委員

そうですね。

○F委員

事前周知をとにかくしていただければ、それで市民が話を聞いて、その上で、やりますよ、やりませんよ。やるとしても、こういう課題がありますよということを市政の立場でやっていただければ、それで問題ない。

吉祥寺南口問題とか、その他何かありますか。こうしたらいいとか。

○B委員

事前周知というのは、そういう話になってくれば、市民感覚のアイデアをそれぞれ皆さん持っているから、事前に説明の段階で、市民のアイデアもちょっと聞いてくれと。

○C委員

聞いたら聞いただけまともらなくなるんだけどね。

○A委員

吉祥寺の南口というのは、新宿のバスタ新宿じゃないけれども、あそこまでいかないまでも、そんなふうにはできる……。

○D委員

F委員、ここで解決できないこともあるじゃないですか。いろいろな制度とか。だから、それは、こういうふうを決めていってもらいたいなという意見でもいいんじゃないですか。

○F委員

それでもいいと思います。もちろんそうです。どういうふうがいい方向に転がればいいのかという話ですね。

○B委員

南口をどういうふうにしたらよいかという話が吉祥寺活性化協議会の中で出てきても、それは時遅しみたいなときに出てくる。話はほぼ決まっている。その中での説明会。

○A委員

協議会は自由参加なんですか。

○B委員

活性化協議会は、地域の住民に情報が入った段階で、口コミで伝わったり、文書で伝わったりして、そういった話で人をまとめてやっているけれども、そこに行政から説明してよという話も、その説明の段階ではほぼ一方通行。聞くだけ聞きましたという。

○A委員

それはどこかの大学の教授か何かが入って、こういう設計構想でいきますという形で出てくるんですか。

○B委員

南口で今非常に問題になっているのは、ラフェスタという新しいホテルが建てられるという問題が、どう見たって環境にもよろしくないし、景観もよろしくない。にぎやかな看板がつくと、景観にもよろしくないし、何とか押さえないという気持ちは地域の人たちは

持っているんだけど、建築法で正式に事業申請されていると、行政としては許可をしないわけにいかない。やった後にどういったものがつくられてしまうか見えているにもかかわらず、建築基準法で許可を出すか、出さないかの問題になってしまう。建築申請があった段階ですぐに情報がまちに伝わるようなシステムが考えられると、いかんせん情報が入るのが遅すぎる。

○C委員

多分出さないんですよ。

○B委員

中には議員さんあたりで情報が早く入っている人もいるのではないかと思われるんだけど、なかなか出さないんですね。

○A委員

行政側としたら、おそらく反対が各方面から予想されるから、あまり言わないで。

○F委員

問題化を避ける。

○C委員

本当そう思っちゃうよね。なんでこんな大事なことをちゃんと言ってこないの、みたいな。

○F委員

皆さん、そこがポイントですか。

○C委員

そこに尽きちゃうかもしれない。

○B委員

南口というのは、再開発して、小田急バスが入っていく細い道があるんだけど、あの前の三角地帯を、全部ではないけれども、あそこを取り払ってロータリーにしましょうという。基本的な話はそうなんです。ところが、もう10年もたつのに全然、何も進捗状況が見えない。そうこうしているうちに、権利が、店の借地権がどんどん変わっていってしまうんです。そうすると何十人にもなって、それをひもといていくのが大変なんです。

○A委員

井の頭線側に入ってくるところの道は、すごく歩行者も多いし、車も来るし、バスも来るし。今、交通整理のおじさんがピーピーやっているけれども、その状態でずっと変わら

ないですね。

○B委員

だから、私が先ほど言ったように、小田急のバスを全部整理してしまっ、ガードのほうに、全部南北のほうに並べてしまえば、あの中に入らないで、真っ直ぐ入ってきて、全部停留所で回せるという。ロータリーで方向転換すればいいんだから。そういったことができるのに、なんで。まず、できることだから、やってみろよという。

○C委員

何でやってみないのかね。やらない理由が何かあるんだよね、きっと。なんかわかんないけど。

○B委員

レモンキャブの福祉車両で足腰の悪い方、不自由な方を送迎しているわけ。吉祥寺の駅だけが身体障がい者のマークのついた車を停められるスペースがない。三鷹は何とか停めるところがある。境もある。吉祥寺だけ。それは何年も前に言っているにもかかわらず、そうだねと言っていながら全然。そんなのはすぐにできることなの。なのに、タクシー会社の圧力が強くてできない。だから、吉祥寺の駅前は何の土地なんだ。タクシー会社の、バスの土地の権利なのかというぐらいに、彼らの力が強くて。

六長の2年前の会議にたまたま意見交換会があったんです。そのときにも既に、それ以前からも出していた。にもかかわらず、まだ何もしないという。

○C委員

その理由を聞きたいよね。何でそんなに動かないと。

○D委員

そこに、経緯を教えてと。

○C委員

やらない理由を伝えてくれれば、納得する市民がいるかもしれない。あ、そういうことなんだ、みたいなの。

○A委員

理解されるかもしれない。それなら納得する。

○F委員

そろそろ次に。交通利便性を末端まで。末端という言い方は変ですけども、吉祥寺駅や三鷹駅や武蔵境駅から遠いところでも。

○A委員

武蔵境のほうは境南町が不便なんですか。

○E委員

それは南側。南側もそうですね。北はムーバス走っているの。当然、北側のほうも関東バスとか入っているの。バスの形には、一応路線の形はできています。だけど、本数の問題とか、あと、ルートの問題だとか、玉川上水を挟んでいるというところで、縦に抜けるラインが決まってしまうわけです。その辺のところを、極端だけど、例えばムーバスに変えることを検討してみてもいいのではないかな。したのかもしれないけれども。

○C委員

ムーバスの路線を引くときに、関前とか八幡町の地域も、市役所に来るとか病院に行くとかというのが非常に不便という声があったんです。それを、コミセンを周りながらとか、市の公共の施設とか医療施設を周りながら市役所にも行けるようなルートが欲しいと言ったら、あそこは関東バスが走っていますと言われてしまって。関東バスの営業を妨害するわけにいきませんという話があったので、武蔵野市は一体誰の味方なんだ、みたいな。

○B委員

民業を圧迫してはいけないから。

○E委員

でも、ムーバスだって、それぞれのバス会社に委託していて補助金を出しているから、同じなんです。同じ路線の同じバス会社を使えばいいのではないかな。

○F委員

関東バスからムーバスへ。

○D委員

ムーバスの拡大ですね。

○F委員

自転車問題はどうすればいいですかね。

○B委員

よく、子どもたちの教育で、自転車で講習をやったりなんだかんだするからできるんだけれども、子どもよりお母さんの教育をしろと言いたい。

○C委員

そうだと思います。

○E委員

それは確かに。取り締まりをしてもらいたい。一度もしていない。

○A委員

いまだに改正道路交通法を全く知らない人が多いんじゃないですか。歩道は歩行者のためのもので、自転車が通る場合には歩行者優先で、すごく気を使って通ることということになっていますが、全然知らないんじゃない。教育、啓蒙をやらないといけない。

○D委員

保育園とか、お母さんたち、お父さんたちの送り迎えも忙しいとは思うんですよね。でも、そういうところで周知していかないといけないですよね。どこで誰が周知するか。

○A委員

東京都の条例では、自転車も保険に入らなければいけない。あれは本当にみんな入っているのかな。

○B委員

それで確認したら、車両保険か生命保険かどっちかで自転車もちゃんとカバーされているんだね。

○E委員

車を持っていなければ入れない。ちょこっと共済とか、市でやっている。あれは結構周知されて入ってくれますね。あれは受けるほうだと思うんです。

○A委員

歩道内のスピード違反の取り締まりをやったほうがいいんじゃない。

○E委員

歩道というか、通学路ですね。

○B委員

女子大通りは、自転車で走るのを怖がる女の方がいるんです。それで歩道を走っちゃうんです。

○E委員

毎日ですよ。武蔵境を自転車で走っていると、何回ヒヤッとするか。

○A委員

信号を守らない、歩道をバンバン走っている。

○E委員

車線は守らない。

<発表>

○F委員

では、Aグループの発表を進めていきたいと思います。

ざっくりばらんに最初に問題点を出していただいて、そこからそれに関して、解決に向けてどうしていけばいいのかという方法で話しました。

まず、問題点について、ざっとご紹介していきたいと思います。

まず、大規模事業に関しては事前周知をしてほしい。市民のアイデアも聞いてほしい。それは、公の機関がやるものであっても、民間がやるものであっても、それは同じであるということですね。

あとは、それに関して、大規模事業をやってほしいもの、進めていこうとしているものに関して――。やってほしいものに関して、全然進まない場合がありますね。それに関しては、ぜひ経緯を教えてよ。とにかく、大規模事業に関してはオープンな形にさせていただきたいというのが1つありました。

次に、吉祥寺南口問題ですね。先ほどのグループでも出ましたけれども、何とかしてほしい。狭過ぎるということですね。

あと、交通利便性に関してですが、これは、吉祥寺駅、三鷹駅、武蔵境駅の周辺では、交通の利便性はかなりあると思うんですけども、そこから離れていけばいくほど、利便性が下がっていく。どうすれば、という話ですね。

それから、自転車マナーの問題ですね。自転車マナーが悪い。どうすればいいかという話でございます。

その他、景観をどういうふうにつくっていけばいいのか、エリアごとのまちづくりをどうすればいいのか、ウォーカブルなまちづくりをどう進めていけばいいのか。

あとは下水問題ですね。女子大通りの下水に頼り過ぎている。それを何とかしていただきたいという問題提起もありました。

それから、無電柱化はどこまで進んでいるのか。これもオープンにさせていただきたいという話もございます。

ただ、全部に関してそういうふうにしていただきたいところではあったんですけども、なかなか時間もないで、一部にとどまったんですが、まず、大規模事業に関しては、とに

かくそのままですね。事前周知。そして経緯も教えてくれ。クリアにしてくれということでございます。問題提起そのものが改善に向けての道筋かと思えます。

2つ目に話し合ったのが、吉祥寺駅南口問題ですね。これに関してどうするのか。再開発の話があるので、それをぜひ進めさせていただきたいとか、あとは、ガード下側にバス停を並べてしまってルートを変えてしまう。そういったことである程度解決ができるのではないかという話も出されました。

最後に話し合ったのは、自転車マナーです。これが悪い。どうすればいいのかということですが、ざっくり申し上げますと、取り締まりをもっと強化してほしい。車の取り締まりはそこかしこで行われていますね。ちなみに、私も捕まったことがあります。自転車で捕まったことはございません。そういったことで、取り締まりをもっと強化していただきたいというのが1点。それをすることで、取り締まられた側がそうなんだということがわかる。

それから、どこで、誰が、誰に周知するかをきっちり決めておくというのが大事ななというご意見もありました。例えば、保育園で親御さんが送り迎えをする場合、保護者の方が送り迎えする場合は、保育園できっちりと、こういうことがありましたので注意してくださいと言っていたとか、いろいろなことが考えられると思います。

その他、出た意見に関しては、問題提起させていただいて終わりたいと思います。以上です。

【Bグループ】

○I委員

私の独断で、ざっくり2つのテーマを挙げさせていただきたいと思います。1つが、インフラなどを含めたまちづくりに関連することです。もう1つが、交通問題、道路、この2つでそれぞれ皆様のご意見をお聞きして、まとめていきたいと思います。

最初にインフラを含めたまちづくりにかかわるところでご意見やご提言などをいただければということで、同じ回転でいきたいと思います。

○J委員

まちづくりで2点。コロナ禍でスーツ姿で食べ物を提供してくれるところに並ぶという。

○G委員

フードバンク。

○J委員

フードバンクに並ぶスーツ姿の若い人が出始めたという問題があって、コロナで仕事がなくなったということなんですけれども、そもそもワーキングプアなんですよ。それとまちづくりに何があるかというところなんですけれども、実は住宅問題。今の若い人たちは給料が安過ぎて家を借りられないんですね。実家から会社へ行っているんです。彼らは自立できないんですね。だから、せめて安い家賃で若い人たちが住めるような、住宅供給か補助かわからないけれども、彼らが自立できる住環境をつくっていかないといけないのではないかとこのころがあります。

さっき、高齢の方が独居で住める民間のという話があったんですけども、高齢者だけじゃなくて、若い人たちもハウジング問題があるようなので、未来ある彼らがそこでつぶれていったら、日本はどうしようもないので、力を入れてほしいです。

2点と言ったんですけども、もう一個はそんなに大事なことはないので、武蔵境はそろそろこれぐらいのにぎわいで勘弁してくれないかなと。吉祥寺のほうで頑張ってもらって、武蔵境はもうちょっと落ちついたまちでいいのではないかと個人的には思っています。以上です。

○K委員

大きい分け方がインフラと交通でしたっけ。

○G委員

交通とまちづくり。

○I委員

インフラを含めたまちづくり。

○K委員

どこまでがインフラで、どこまでがというのがわからないんですけども、まず、交通の話でいきますと。

○I委員

交通の話は次で。上下水道だとか。

○K委員

これは多分インフラだと思うんですけども、96 ページの基本施策1の(3)に「魅力的な都市景観の保全と展開」という項目があります。この中で訴えたい部分が、ほかにもありますけれども、「無電柱化施策の方向性や具体的な取組み等を定めた武蔵野市無電

柱化推進計画（仮称）を策定」云々というのがあるんですけども、実際、武蔵境のことを言いますと、すきっぷ通りと、すきっぷ通りに向かって西側のスイングから始まるあそこをスイングロードと言うらしいんですけども、ここは完璧に無電柱化が完成しています。ただ、ちょっと裏に入ると、たっぷり電柱がまだあって、無電柱化の計画も市のほうで計画を立てて、少しずつ進めているというのは理解しております。

もう1つは、無電柱化といっても、莫大な資金が必要なので、そう簡単にあそこもどこもというふうにはいかないというのはわかっているんですけども、基本的には無電柱化というのは強力に進めるべき課題ではないかと思うんですね。それは、1つは景観の問題。私は無電柱化地区にたまたま住んでいるもので、あれが当たり前になってしまうと、電柱のあるところは何て邪魔くさいんだろうと思ってしまうこともあります。

あとは防災です。防災というのは、万が一、地震になりましたなどのときに、電柱が倒れてしまうのではないかと。それで大きな事故になるのではないかという心配ですね。

もう1つは、似ていますけれども、安全ですね。特に、後で出るかもわからないですけども、狭い道路で、特に歩道が狭く、なおかつ電柱があると、特に自転車で通行するときに危なくてしょうがないんですね。きょう、私は境から自転車で来ましたが、五日市街道のところは危なくてしょうがないなと思いました。なので、ぜひ無電柱化について強力に推進していただくのと、単に駅前のメインのところに限らず、危険な場所等を優先して進めたいと思います。以上です。

○L委員

さっき住環境という話が出ましたが、民間と連携した多様な住環境づくりが必要だということが書かれていますが、これに関しては、まだまだセーフティネットを含めて。セーフティネットといったのは、要配慮の方々に対して、どう住宅を提供するかという。これは、業界の中でも1つの大きいテーマで、国交省も提唱していることなので、今、進めているんですが、ただ、これも我々業者が協力体制を示していかないと、お題目で終わっているところが結構多いので、多分武蔵野もそんなに進んでいないのではないかと思うんですね。こういったものに関して、関連した民間のほうに強力でPRしながら、協力をいただいて、本当に困っているの方々に対して住宅。

今、住宅というのは、基本的には需給バランスが逆転しまして、空室が結構多くなっていますから、さっきJ委員の言っていた、若い方に関しても、今、空室が余っているので、家賃が下がりつつあるんです。そういった意味では、あまり要求が高くなければ、3万、

4万ぐらいでも余っている住宅があるので、そういったことも情報としては提供できるだろうし、お年寄り、独居も含めて、いろいろな、要は亡くなったときにどうしたらいいとか、家賃が滞納したらどうしたらいいか、それに対する手当として、障がい者を使うとか、市が助成して、例えば、独居老人が亡くなったときの後始末費用をどうするかということを含めて、結構いろいろなところで手を打っているところがあるので、そういったものを情報を集めながら、武蔵野市ではこういった方々に対してはこういった手を打っていかうという、まだまだやることがいっぱいあるので、これに関しては、今、しっかりと準備を進めていくべきだと思います。私からは以上です。

○I委員

データを見てわかったんですけども、お一人で住んでいる65歳以上の方の比率は想像より多かったので、さらにこれは上がっていきますよね。近所には、そういう方はあまりお見受けしないんです。

○L委員

例えば、自宅に住んでいる方もいるだろうし、賃貸で住んでいる方もいると思うんです。でも、居住体系はどうしても、1人で住んでいることに対して、絶対ケアが必要なんです。そのケアの仕方としては、例えば、1つは、動いたことをサーチするモニターがあって、信号で自動的に知らせるような仕組み。しかも、廉価でそんなに高くなくできる仕組みが結構できているので、そういったものを市として補助して全部つけてあげるとか、つけなくても、安い費用でつけられるとか、そんな仕組みも大事だろうし、そういった方に対してでもできる仕組みをいろいろ民間でも出てきていますから、それをどう有効に使っていくかということが大事になってくると思います。

○J委員

電気メーターも遠隔で見られるんですよ。それで活動状況がわかるかもしれないですね。

○G委員

東京電力とか東京ガスで、使ったら生活がちゃんと成り立っているんだなというのがわかるみたいな。

○J委員

万が一倒れていたら、その日の使用料が下がる。

○L委員

特に、倒れたとき、いかに早く発見するかによって生死が分かれるときが結構あるんですね。だから、それを信号でサーチするものがあつたら全然違うと思います。

○G委員

熱中症で倒れるということは、今の時期はこれから特にあり得ますものね。

I委員

ジムに行くのが、それが健康だということで、武蔵野市は、ボランティア活動とか、していただいて、それでできるというのがありますよね。市としての。65歳以上の方の一人暮らしの比率はちょっとびっくりしました。

○J委員

1人で住みたいんですよ。

○I委員

住みたいということなんですかね。なっちゃったということじゃなくて。

○J委員

なっちゃったんですけれども、じゃ、施設に入るかといったら、そこに住みたいと。

○I委員

お子さんとかがいても。

○J委員

さっき、家賃で3万、4万という話だったんですけれども、今の人たちは、フルで働いて、年収200万円世帯なんです。3万、4万が高いんですよ。

○L委員

収入が上がっていないという。

○J委員

上がっていないというか、下がっている。

○G委員

下がっていて、物価だけが上がっていく。

○J委員

ワーキングプアは年収200万円台。

○L委員

民間でも余っているところはいっぱいあるんです。余っているところだけでも、持っている方が、借金してローンで払っているオーナーだと、ある程度の家賃を取らないとペ

イできないというので、なかなか下げないという状況もありますから、そうなってくると、基本的には生活保護ではありませんけれども、ある程度市が借り上げてあげて、家賃を設定して、基準に合った人を入れてあげるとかね。もちろん市営住宅はあると思いますけれども、そういった感覚で住宅政策を考えていかないと。

○K委員

普通にネット等で検索すると、3万、4万円台というのはあり得ないと思いますし、吉祥寺と三鷹と武蔵境はまた違うと思うんですけれども、少なくとも吉祥寺の徒歩10分とか15分のところにリーズナブルなものがあるわけないという。発想が出ないですよ。武蔵野市のしかも吉祥寺に住もうなんていう、たぶん若者たちは。この間、テレビでやっていたけれども、練馬区の駅のほうが近いんだけど、吉祥寺まで徒歩25分とかで、僕は吉祥寺に住んでいますと。それがブランドなのかもわからないですけれども、ちょっと嫌ですけどね。

○L委員

でも、そういう低所得者の方に関しては、吉祥寺に住みたいとか、そういうレベルじゃなくて、3万、4万の家があったら。だからといって山奥へ行ってもしょうがないので。近隣でも探したら出てきますから。さすがに吉祥寺駅徒歩10分は無理ですけれども、例えば、西荻窪、あるいは荻窪辺りで徒歩15分ぐらいだったら結構安い物件がありますから。ただ、さっき言ったように、年収200万円の夫婦の方が住む家となると、ある程度の金額でなければ無理だと思うので、そういった方に関してはある程度少数派じゃないかと思えます。

○J委員

若い人は結構います。

○L委員

夫婦ですか。

○J委員

夫婦じゃないと思いますけれども。結婚できないですから。賃金問題でもあるんですけども。衣食住は喫緊の問題じゃないですか。

○L委員

そうですね。一番大事ですね。

○G委員

住むところがなければ、仕事も見つけれないし、仕事をしていないと住むところも見つけれないみたいな、重なっているから。

○L委員

職場と自分が住むところの通勤の問題は確かにありますけれども、職場がどこにあるかも問題ですけれども、1時間以内で探そうと思ったら、結構安い物件が今だったら探せると思います。例えば、さっき言った、3万、4万ぐらいのワンルームのアパート。しかも、古いアパートだったら、今、すごく落ちていますから。

○K委員

3万、4万で風呂はついているんですか。

○L委員

もちろんです。うちが管理しているマンションでも、千歳烏山から歩いて10分のマンション。ちゃんとバス・トイレ付きで、それでも4万円台です。結構若い方が住んでいます。それが15分になるともっと安くなるし。だから、探そうと思ったら絶対あります。そのかわり、こんな古いアパート嫌だとか言ったら無理ですけど。アパートでも、和室のアパートというだけです。そのかわり、ちゃんとお風呂もついている。そのかわり、そういったところはほとんど若い方が入りませんから、結構余っているんですね。余っているから、建て壊して、新しいのを建てるか、あるいは、建て壊して違うものにするかということの状況の中にある古いアパートもありますから、そういったアパートはほとんど空いていますから、結構安いんですね。そういったことも当然普通の生活をできるわけです。住もうと思ったら。ただ、それが、アパートは嫌だとか言う人がいると、なかなか入りませんけれども。1階は嫌だとかね。

○H委員

僕の経験から言うと、オーナーの立場からしたら、今、家賃が筒抜けなんです。自分の住んでいる隣の部屋が空いていて、幾らで隣が募集しているとか、全部情報が出るわけですね。オーナーからすれば、5,000円下げてでも入ってほしいと思うけど、5,000円下げたら、隣に住んでいる人たちが、じゃあ、更新のときに下げてくださいという話になって、全体が下がっていくのを恐れて、なかなか大きく下げられない。賃貸の目安として2カ月空けたらだめなんです。空いたら、2カ月、3カ月以内に埋めないと、1,000円下げてでもすぐ入ってもらったほうが絶対得なのはわかっているんですけども、全体が下がるのを恐れて下げられない。オーナーからすると、資産なり、蓄えで暮らしている人もたくさん

いるわけです。民間の賃貸は、市場原理に任せてはだめなんですね。何かしら公的な何かがあって。補助みたいなのところなんだと思うんですけども、供給が多くなれば、基本的には下がっていくはずだけれども、それでは市場を忠実に反映しない財なんですね。不動産は。だから、制度で補わないとだめですね。賛成の意見です。家賃の補助みたいなことで。

○G委員

あと、思うのは、空き家をうまく利用できないんですかね。そういう人たちに対して。空き家になっていてというのを、例えば、不動産屋さんでも、子育て世代はちょっとというところもあるので、空き家だったら、そういう人たちだって当然。ただ置いておくだけではなくて、活用できないのかなとは思っています。

○H委員

定期借家で更新のない期限を定めた借家経営。これは民法の話になりますけれども、昔は、一度入ったら居住権みたいな権利が出て、1回入れたら出ていかないみたいな、出せないみたいな。今は定期借家だったら、期限がきたらさようならというのがある。その辺の使い方ですね。

○G委員

武蔵野市は貸借所有者に支援する制度がありますよね。それは所有者だけなんですかね。それを持っている人なんですか。それとも、制度というのは、仲介業者も含むということですか。それはどうなのかなと。武蔵野市の賃貸所有者に支援する制度というのがあるみたいですけども。

○L委員

それは所有者ですね。

○G委員

それをちらっと聞いたんですけども、そういうのはないですか。空き家をうまく利用するというのも1つの手になるかなとは思っています。

○L委員

空き家を借り上げて、シェアハウスをやる業者がいたら、それはそれとして多分。そうなってくると業者任せになってしまうというか。

○G委員

市でちゃんと管理するように。

○L委員

市はそういう事業は無理じゃないかな。

○G委員

じゃ、どこかに委託するような感じ。

○L委員

委託するような感じでしょうね。ただ、市がもしそういったことをやるとしたら、さっき言ったように、借り上げて安く貸してあげるとか、あるいは反対に家賃を援助してあげるとか。年収何万の人には家賃6万円以下だったら1万円とか2万円補助とか、そんな感じでやらないと、運営を市がやるというのは無理だと思います。

○G委員

あと、商店街ですけれども、吉祥寺はテナント料が高いんだろうなと思っているんですね。でも、前は個性的なお店がたくさんあったんですけれども、今、どこへ行ってもドラッグストアばかり。これは、ほかに方法はないのかな。それこそ不動産屋さんとか何かうまく連携して、違う形のお店ができないかなということもいつも思っているのと、同じように、商店街で三鷹の北口は、商店街としてどうなのかなと。小売店が少ないんですね。靴屋もない、本屋もない、文房具屋もない。みんな南口の三鷹市のほうに行ってしまうということなので。あそこは、あれだけいろいろ商店街が使えるので、何かうまくもっと活用できないか。ワークショップとかイベントで使ったりするのだけでなく、小売店で何かできないのかなと思っています。中途半端な商店街になっているので。

○K委員

それはすごい難しい問題ですよ。先ほどの境のお話もありましたけれども、どこまで行政がかかわれるかということだと思うんです。個人の感想では、すきっぷ通日もだんだんさびしくなってきたとか、サンロードもつまらなくなったとか思うんですけれども、じゃあ、違法行為の中で出店したのかというと、そうじゃないですよ。きちんとしたいろいろな法律に則って審査は受けたはずだし、あと、よく出てくるのが大規模なやつで、武蔵野まちづくり条例第何条に沿ってこれを掲示しました。それから、よく入ってくるのは、いついつ、説明会をやりますので、ぜひ来てください。そういうのがあってやっているの、個人的にはどうかなと思う部分は確かにあるんですけれども、じゃ、誰が悪いのかといたら、別に悪くないのかなとか。

例えば、長く続いていた個人店がなくなるというのは、随分あるのは事実なんだけれど

も、多分一番大きなのは後継者がいないせいだと思うんですね。あとは、商売がじり貧になってしまったとか、いろいろあると思うんですけども、これはどうなのかなと。よく考えるんですけども、じゃあ、これの解は、しょうがないことなのかなと思ってしまいますね。

○G委員

ただ、サンロード一帯、右見ても、左見てもドラッグストアばかりという状況にびっくりしているわけで。

○K委員

だから、もう出店できないでしょう。もっとおもしろい店が昔はあったような気がするんですけども、もっと周辺のほうに、それこそ東急の裏とか、あっちのほうになっちゃったのかな。

○I委員

ネットで場所を探せますから、あまりそここになくても。

○H委員

すぐそこに、数カ月前まで東急に入っていたクリスピーカーリーというのが緑町に来たわけですけども、吉祥寺近辺で名の知れたところが緑町とかに移転してくるというのがあって、それがよくこのまちを象徴しているな。吉祥寺で名を売って、ちょっと安いところへ。そういう動きはある。

○G委員

前は、駅の再開発のためにこっちに動いて、そのままというのは結構、中道通りなんかそういうお店がわりと多かった。

○I委員

武蔵野市の3つの駅の個性が違うので、それぞれ私、結構好きなんですけど。

○H委員

境の北口も、ちょっとチェーン店化していますね。

○J委員

随分変わりましたね。

○H委員

私はあの辺、好きだったんですけども。

○J委員

30年前はチェーン店なんかなかった。

○K委員

きょう、たまたま境北口のすきっぷ通り商店街がサマーセールをやるというので、新聞のチラシに入ってきたんですね。今、サマーセール参加のお店はどれだけありますといったら、14軒しかないんです。例えば、モスバーガーとか、ココカラファインとか、一部チェーン店、多分フランチャイズだと思うんですけども、そういう店も入っているんですけども、ほとんどないですよ。お店自体が。だったら、福引大会もよくやっていっちゃうなど。前はイベントとかやっていたんですけども、これはもうできないなど。じゃ、これは誰が悪いのかといったら、別に誰も悪くないんじゃないのかな。さびしいはさびしいですけども、それはあくまでも個人の印象であって、しょうがないのかなというのも。

○J委員

一応頑張っって、ここの商店街の会長さんは、会長をまだやっていますけれども、店はい最近閉めたんですよ。商売をしていないのに会長業をやっている。

○L委員

閉めたということは、そこで商売を続けることができない。

○J委員

そうそう。

○L委員

ということは、商圈としては落ちていますかね。

○J委員

洋服屋さんをやっていたんですけども、洋服はみんな。

○L委員

洋服は厳しいですよ。通販でも買えるし。

○K委員

ここも、ファミリースタンプというスタンプをもらえるのが来年でやめてしまう。そもそももらえる店がないですからね。というのもあるんですよ。ただ、うちの家族に言わせると、昔は結構もらっていたんだよ。何かに交換したよ。

○L委員

それはそれで楽しいことでもんね。

○K委員

それはそれでね。あそこは本当にいろいろ、冬になったらお餅つきだとか、秋だったら芋煮会とか。

○G委員

商店街のお店の経営だけではなくて、違う意味合いでの。

○L委員

地域との。

○G委員

あったわけですよ。

○K委員

亜細亜大学のブラスバンドが来たりとか、すごい楽しかったんですよ。もうできないですね。

○J委員

お腹に絵を描いてやっていましたよね。へそ踊り。

○K委員

へそ踊りもやっていました。舞祭というのもやっていましたね。あれは、いろいろなところから人が来て盛り上がりましたけどね。

○G委員

そういうのも大事なんですけどね。

○H委員

まちづくりについては、3つの駅、それぞれ個性があって、はっきり言えば、吉祥寺に稼いでもらって、静かなところは静かなままでいいんじゃないのという考えですけれども。吉祥寺がいかに稼げるかというほうに意識を集中させて、さっきの住宅問題も含めて、吉祥寺の活性化が武蔵野市にとって生命線ではないかと思うし。確かにサンロードにチェーン店ばかりというのはよろしくないとは思いますが。私は、中道通りを自転車で毎週通りますけれども、いろいろな个性的なお店がどんどんできていて、ただ、数年でなくなっていく。入れ代わりが激しいんですね。いいな、今度行ってみようかなと思っていた店が、あれ、もうなくなっている。

○I委員

定借期間を終わって、それで出る。

○H委員

ある意味、吉祥寺で名を売るために短期間だけ出して、さっき言ったように、別のところでという戦略もありだと思えるんですけども、長くできるような仕組みは行政でやれることの1つかなど。さっきの更新の問題だとか、後継者がいない店舗を大手に貸してしまうのではなくて、市が借り上げて続けられるような仕組みとか、これも結局民間の不動産の市場原理に任せた話でどうにもできない面もあるし、でも、ちょっと公が手を加えることで続けられる工夫はきっとあって、それは吉祥寺には投入してもいいのではないかな。

○G委員

担い手を育成しつつ、後継者を育成しつつ、何かできるような。

○H委員

更新のときの更新料が払えないとか、リニューアル費用が出ないとかとあって、大手資本のチェーン店は残るけど、個人は。そこはきっとできることがあるのではないかなとは思いますが。

水のことをちょっと触れたいんですけども、上水、下水、都営水道の一元化とか、そういう問題もきつとかかわってくると思うんですけども、大体こういうのは計画的に効率的に持続的に。さっきのスライドにもたしかそんなような図があったと思うんですけども、計画的はとても大事だと思います。持続的も大事だと思いますけれども、効率的という言葉が水の問題にはなじまないのではないかと私は思っていて、あまり効率を重視してしまうと、民間委託になりかねなくて、水は公が非効率であってもやるべき。それぐらいの基盤というのはそういうもので、効率とか経済性だけでやってほしくない事業の1つ。最たるもの。どこかの地方では、外国資本の水道委託会社があって、水を中国資本に握られるのがどうか、そういうのが問題になっている地域もありますけれども、効率化というのは、あまり言わないでほしいというのが、水のことに関しては、これから水は取り合いになるはずだから、そこは公が非効率であっても守ってほしいなというのが意見です。

○J委員

武蔵野市は効率の話は言っていたかな。水道管がたしか問題だったと思うので。

○H委員

でも、結局、都営水道の話なので、経営の効率化、大規模改修に自前のお金じゃ足りないからとか、そういうところにも一部あるわけですね。

○J委員

水道管の更新ができないから東京都にやってもらおう。

○H委員

じゃ、東京都ならできるのかという話でしょうね。

○J委員

できるんじゃないですか。国家予算のようなものを持っていますから。

○H委員

ただ分散しないでほしい。ローカルでいいんじゃないかなと思うんですけどね。

○J委員

それは思いますけどね。

○I委員

上水道は危機感を持っていて、上水道、何か収益につなげられることはないかなということ考えたんです。安全性が一番担保しなければいけないんですけども、請求書に広告を出すとか、そういう方法があると思うので、今のままだと、古い管を交換するのも大変だし、ビジネス的な発想が欠けているかなということ、それは武蔵野市だけの問題ではないですけども。

○H委員

もうからない仕事です。もうけなくていい仕事なんですね。

○I委員

収益源がないかなと。

○J委員

このままだと立ち行かないですよ。

○事務局

節水機器の普及で水の使用量が下がって、水道収益だけでは賄えないです。あとは、利用料金を上げるしかないけれども、上げるわけにもいかない。

○I委員

上がるのはやむを得ないけれども、とんでもない金額は困る。

○J委員

命にかかわることだから、そう簡単には上げられない。

○I委員

資金調達を独自に考えると、いろいろあると思う。

○J委員

これからまだ人口が1万人以上ふえていく。16万にいく。

○I委員

あれもちよっとどうかなと個人的には思っています。

○J委員

揚水量も異常に多いし。

○H委員

お金をかけなければいけないのはいっぱいあるのはわかるんですけども、水は大事にしてほしい。

○I委員

生命線ですからね。

○G委員

それは優先でしょう。

○I委員

すいません、ありがとうございました。

今のテーマで私から1つご意見は、3つの駅それぞれが、それぞれの強みをもっと明確化して、アピールなり、まちづくりをするべきだなということは常々考えています。3つが個性が違うという意味で、明確なフレーズがあまりみえないんですけども、ここを明確に整理して、いいまちをつくってほしいなということは思います。

○K委員

そういう言葉が入ってね。

○I委員

そうですね。吉祥寺だったらアニメとか、いろいろなものが買える。武蔵境だったら、緑を楽しみながら動物にもふれ合えるとか、落ちついた雰囲気。吉祥寺を卒業したら武蔵境。

○J委員

いいかもしれません。

○I委員

三鷹は、南口に行かないで北口に。南口は、三鷹市ともうまく連携しながら。三鷹もポテンシャルはあると思うんです。三鷹もそういうキャッチコピーもあると思うので、この3

つの駅を核に、武蔵野全体が1つの線につながりますのでそれによって、当然、不動産とかの価値も上がってくるでしょうし。

○J委員

水道のところで、地下水は足りるんですか。

○事務局

取水制限があって、全部地下水では賄えないです。足りるとするのは……。

○J委員

8割入れているじゃないですか。その割合をこの先続けていけるのか。16万人になっても。

○事務局

そういう意味ですか。それは、吸い上げはふやしていかないとだめです。それはあります。

○J委員

もうかなり下がっていますよね。

○事務局

ほぼほぼ2割でやっていますけど。

○J委員

今度、小金井市でシンポジウムをやるのは、地下水をどう戻すかという話をやるらしいですけれども、小金井市で水をふやしても、こっちで吸い上げてしまうので。他市とのバランスを。

○事務局

今の水位を維持できるかというのは課題になると思います。

○I委員

2つ目のテーマで、道路環境。この関連するテーマで、また同じ順番で、コメント、ご提言をいただければと思います。

○J委員

私が考えてきた内容で、それはなかったもので、パスでいいです。

○K委員

104 ページの下のほうですけれども、きょう一番言いたかったのはこれなんです。吉祥寺駅の南口のあのカオスを何とかできないかというのは。多分市の皆さんもコツコツやっ

ていらっしゃるのは十分わかるんですけども、あの狭い道路に1日何百台とバスが入ってきて、歩行者と輻輳しているという言い方になってしまうんですけども、あれは本当に何とかしてほしいというか。あれを私も何十年も見ているんですけども、異常なはずなんですけれども、日常になっているんですね。ただ、初めて吉祥寺に来た方、井の頭公園に遊びに来た方が見たら、あれ、何だ、と思うと思うんですね。それを申し上げたかったということです。

○H委員

だいぶこっちにまわるバス増えましたよね、昔よりも。たまたま私は駅前でバスに乗る側なんですけれども、ある意味、あれもまちの魅力の1つぐらいに思っている。

○J委員

あそこの再開発は利害関係もあるので。

○K委員

権利関係がすごいですよね。

○H委員

バスを停めるところを別の場所に移せばいいだけ。ヤマダ電機側とか、都道側に。

○K委員

ただ、結局、このままだと例のバルセロナのサグラダファミリア状態になってしまって、何百年後にできるというのもまずいと思うので。

○H委員

あそこの道の狭さが僕は好きで、バスが通る。あれを拡幅するというのはちょっともったいないという気がします。

○J委員

あそこへ夕方行くと、電柱と夕日のあれが結構いいですよ。

○K委員

まあ、一番は危ないということなんですよね。一日中、あそこで警備員の方が声を張り上げて、はい、バスが来ました、あれを何十年もやっているというのは、ちょっといかがかなと思っています。

○L委員

バスを駅前に停めるためにあそこに着くわけですね。

○K委員

要は、あの後、井の頭通りの丸井側に出発のバス停があるので、そこまで行かないといけないんです。そうすると、あそこに入って、2回右折するんですね。それしかやりようがないんですよ。

○L委員

丸井の前をずっと行って、北側のロータリーをずっと回って、また戻ればいいわけですよ。

○K委員

どこまでなんでしょうね。羽田空港から来るバスはそれをやっているみたいなんですね。井の頭通りを来て、北側まで延々と行って、ガード下のところのバス停まで行く。1日何百台ものバスをやっていたらどうなのかというのもあって、警察的にはまずいんじゃないですか。

○I委員

でも安全面で考えたらあれですよ。

○L委員

でも、市民の危険を考えたら、別にそんなことをやってもいいと思いますね。

○K委員

そうですね。1年後、2年後とは思わないですけども、この話は今までも計画で何度もテーマで出ている話です。

○L委員

交通で言えば、ムーバスが今、4系統。私もいつもムーバスを使っているんですけども、非常に便利な乗り物として使っているんで、ムーバスをこれ以上本数をふやすことは無理だと思いますけれども、ムーバスに関しては、私は非常にいい交通手段だと思って、使わせていただいています。

それと同時に、私は健常者で、当然、通勤で使っていますけれども、反対に、例えば、体が悪い方とか、要介護者を含めて、そういった方々が自由に使える交通手段をもうちょっと整備してあげたほうがいいかなという感じがします。

○J委員

レモンキャブじゃなくて。

○L委員

レモンキャブも含めて。レモンキャブもまだ台数が少ないですよ。あれをムーバスみ

たいに日常的にみんなが利用できるような仕組みにするべきではないかと思います。以上です。

○G委員

私は、武蔵野市は、見ていると、狭い道路も多いし、抜け道になっているところもあるので、学校に通っている子どもたちの事故などを聞くと、生活道路、学校周辺の道路での事故がすごく多いということをよく聞くので、見守り活動をいつも思っていて、秋とか春の交通安全週間というと、警察の人がたくさん出てきて、いろいろなことをやっているけれども、それ以外のときは、そういう人たちは一切いないんですね。

そのことを踏まえて、シルバーの人に頼むとか、ボランティアでもいいから、何かをやってもらうとか、もしくは大学生とか、そういう人たちにボランティアとして参加してもらうという手もあるかなと思っています。

あと、自転車が武蔵野市は利用者が多いので、放置自転車とか、いろいろなことを踏まえると、シェアサイクリングみたいなものがふえればいいかなと思っています。誰でも安めで使えて、サイクルスポット、ここには返せませんというところを何箇所か設けて、市内で借りた自転車はここで返すということが、スマホなりタブレットで管理できると思うので、そういうところを設置してもらえるといいかなと思っています。そうすると、自転車の数も限られてくるので。歩行者と車椅子と障がい者が使うようなのとか、ベビーカーを押しているお母さんとか、そういう人たちとの道路の行き交いにも一役買うのではないかなと思っています。

見通しの悪い道路が多いので、そういうところの出会い頭で自転車同士の事故もよく看板で見るので、何月何日、どこでこういう事故がありましたというのをしょっちゅう見ているので、見守ってくれる人も必要だなと思います。以上です。

○H委員

道路については、南北はいいけれども、東西がだめとどこかに書いてあって、五日市街道を何とかしないと、吉祥寺につながる道でもありますし、吉祥寺のまちの魅力という意味でも、井の頭通りと五日市街道の拡幅というのは、あれは都道だから市の問題ではないんですけども、まちづくりということからしたら、危険だし、まちの魅力も減ってしまうような。あと、いつも言うことですがけれども、災害のときに大丈夫なんだろうか。武蔵野消防署が五日市街道沿いにあるんですけども、五日市街道がつながってしまったら、追い抜きもしませんよね。都に働きかけてっていうのが市なんでしょうが。

五日市は、徐々に広がっていつていきますけれども、成蹊から武蔵野八幡宮までの間は狭くて、バスも、救急車、消防車、本当に大変だろうなど。時には真ん中を通るんじゃないかな。

○J委員

あそこはそれこそ大昔の街道のままなんです。

○G委員

石炭を運んで、向こうから農業のものを運んでくるみたいな道路だったから。

○H委員

東西方向の道路アクセス。

○I委員

話は進んでいるんですかね。見ることは見るんですけども。

○H委員

これをみるとこれからの課題ですみたいに書いてある。引き続き、東京都に働きかけていくみたいには書いてあるけど、「優先整備路線に選定されず、歩行者や自電車の安全で快適な交通環境が確保されていない五日市街道や井の頭通りについては、引き続き東京都に事業化を要請する」とあります。

○I委員

交通環境に関しては、市民の方の関心が高い。常に上のほうにあって、多分、車、自転車、歩行者等、を含めて、関心度が高い。警察も絡むし。

<発表>

○I委員

大トリということで頑張っていきますので、よろしくをお願いします。

今回のテーマ、各メンバーの方から非常に興味ある熱い意見が出まして、皆さん、武蔵野市を愛しているんだなという気持ちを感じました。

今回、カテゴリーを2つに分けて、1つがインフラを含めたまちづくり。もう1つが交通環境と大きく括りをつくりまして議論しました。

ちょっと時間が足りなかったなので、まとめをよいしょでやってしまいますが、まずは前者のまちづくりに関して出た意見。若干ほかのグループの皆さんとかぶる部分があるんですが、発表させていただきます。

まず、3つ、武蔵野市には駅があるんですが、それぞれ非常に個性があるので、それぞれの個性を生かしてまちづくりをするべきではないか。たとえば言えば、吉祥寺にどんどん稼いでもらう。人を引っ張る。三鷹には三鷹のよさがある。武蔵境にはまた違う個性があるので、それぞれをきっちり分けて、駅を中心にまちをつくっていくという形がいいのではないか。

ただ、これは賛否両論だと思うんですが、吉祥寺は特にそうだと思うんですが、チェーン店がふえてしまって、個性が薄れてきている。小さい店をもっと育てていくような発想も必要なのではないか。そんなことも出ました。

あと、最初のグループから出たんですが、住宅環境というところで、社会的弱者の方とか、特に若者に関しての答申が出たんですが、なかなか住居が確保できないということで、こちらへ行政のある程度支援が必要なのではないかといった意見なども出ました。

あと、もう1つは、インフラに関して、上水道、下水道、特に上水道に関しては、まさしく生命線で、こちらについて効率性を追い求めるということはいかがかというご意見があって、今後のインフラの整備をする上で、安全性ですとか、重視することがありますので、そちらを一番の軸足に置く。そこでご意見として出たのが、何らかの収益につながるようなものが民の発想であるから、そういった検討もするべきではないかという意見も出ました。

1つ目のテーマはこのような意見が主に出まして、2つ目の交通環境に関してですけれども、吉祥寺南口の件は同じようなことで、「カオス」という表現でしたが、これはヒヤッとした方が多いとは思うんですけれども、一方で、あれが「らしい」という意見もあるかもしれないんですが、ある程度整備が必要なのではないか。

あと、ムーバスに関しては、皆さん、よく利用されていると思うんですが、社会的弱者向けの公共機関としては、さらに強化する必要があるのではないか。そういったご意見が出ました。

あと、公共の交通機関として、海外から、日本でもかなり導入されていますが、自転車のシェアです。時間を区切ったレンタルも導入してもいいのではないかというご意見がございました。

最後に、時間がなくて私からご提言できなかったんですが、私の近くの中学校の目の前が抜け道になっていまして、完全に武蔵野市に用事がないトラック等がすごいスピードで通り抜けているという状況を見まして、個人的には、鎌倉のいろいろな取組み、具体的に

はロードプライシング、こういったものなども性善説だと限界があるので、1時間程度で抜けてしまう車にはチャージするような抜け道対策もあってもいいのかなということのご提言は、時間がなくてできなかつたんですが、皆さんと共有させていただきたいと思います。駆け足で、以上、共有したいと思います。

【Cグループ】

○Q委員

最後ということで、進行させていただきます。

都市基盤ということで、自分としてはインフラが中心なのかなと考えていたんですけども、アーバンデザインも含まれているんだなということで、新たな視点というか、そういう見方もあるんだなと改めて思う次第でした。

では、R委員からよろしいでしょうか。

○R委員

まさにハードな部分が多いと私も思っていたんですが、いわゆるビジョン構築という意味で、非常にワークショップを開かれているんですが、マスタープランのところに詳細が載っていたんですけども、非常にいい面としては、問題を見るよりも宝物を見ますという視点で将来のあり方を皆さん議論されていたので、ひょっとしたらこれはそういうふうなガイドラインがあってワークショップが成り立っているのかなと思いました。2022年に出されたマスタープランは、とてもいいものだと思います。

何度も言って申しわけないけれども、課題だけ見たり、問題だけを見ていると、将来ビジョンの展開は限られてしまうので、資源をきちんと認識して構築していくアプローチがとられていたのがよかったと思います。

具体的に問題として私自身がどうなのかなと思ったのは、「10年後の武蔵野」と言われても、高齢者が増えていまして、高齢者の10年後、20年後を見据えたまちづくりというのはどこまで反映されているのかな。高齢者はこういうところのビジョン構築にあまり参加できないだろうし、どうなんだろうなというのが、そのワークショップの参加者の年齢層をきちんと調べていないんですが、おそらくそんなに年をとった人はいなかったのではないかと、ちょっと気になりました。

それから、個別な問題よりも、このまちづくりにおいて、生活困窮者の視点がどれほど取り込まれているかというのが心配になりました。特にコロナのあれで、テレワークでき

る人はいいと思うんですね。多くのテレワークできない人がいるわけですね。こういう人たちが住みやすいまちとは、ここに書かれているものの中にどれぐらい反映されているのかなというのが、個人的に感じた問題です。

先ほど、集合住宅に住む独身者、特に接点づくりもそうなんですけれども、視点がちょっとずれてしまうんですけれども、若者もそんなに収入が高いわけではなくて、多くのテレワークできない若者たちには、人と接する仕事をしていたり、そういう人たちにとってのまちづくりというのが、ここにきちんと読み取れるといいなと思いました。そんなところですよ。

○Q委員

N委員。

○N委員

全体として意見を言えることはなくて、個別論になってしまいますけれども、1つは、井の頭通りの吉祥寺駅の丸井の前に小田急バスのバス停がずらずらと並んでいるんですけれども、聞くとところによると、道路がバス停というのは、どう考えても渋滞を起こすので、吉祥寺駅の南口の階段を出たところの辺りの土地を買収して、そこにバス停をつくるという案があるらしいんですけれども、買収がなかなか進んでいないみたいですね。なかなか大変なことだと思うんですね。売りにたくない人も多いですから。

ただ、これは何とかしないと、土曜日とか日曜日になりますと、特に日曜日ですけれども、井の頭通りと五日市街道に沿った、並行した通りは全部生活道路ですから、自動車が入れなくなるんですね。そうすると、五日市街道と井の頭通りに集中して、私は五日市街道と井の頭通りの間に住んでいるんですけれども、自動車で都心に向かおうとすると、吉祥寺の駅を抜けるまで30分以上かかる。歩いたほうがよほど早いということになって、さはさりながら、自動車で行かざるを得ないことがあるので、ここは社会的にはものすごい損失だと思うんですね。多くの人があそこで渋滞していますから。あそこは早く何とかしてほしいなと、個人の体験として思います。用地買収は一等地ですからなかなか難しいんですけれども、何かできないかなと。

もう1つは、武蔵野市以外ですけれども、小学生の列に自動車が突っ込むみたいな悲惨なことが起きているわけなんですけれども、もう1回、小中学生の通学路の安全対策はぜひ点検してほしいなと思います。前からお話ししているように、私の家の前が一小と一中の通学路になっている大正通りなんですけれども、朝の7時までは自動車が通れるわけですね。

五日市街道も井の頭通りも朝の渋滞があるので、抜け道になっていて、ものすごいスピードで工事の關係のトラック、あるいは軽自動車がボンボン飛ばしていく。朝早い時間から通学している小学生もいますから、ひやひやして見ているわけです。ガードレールも一応あるんですけども、もう1回点検してほしいなど。ああいう悲惨なことが絶対に起きないような対策を最優先でやってほしいなど心から思います。どこがというのは僕はわかりませんが、再度点検してほしいなど思います。以上です。

○Q委員

○委員、お願いします。

○○委員

100 ページの「人にやさしいまちづくり」のところで、まちづくりでバリアフリーをやるとういうふうになっているんですね。それはいいことだと思うんですけども、ハードだけでなく、道路を使う人の意識もすごく必要だなど思っていて、せっかくバリアフリーの道路をつくったり、自転車専用道をつくっても、そこに車が停まっていたりするんです。そうすると、そんなところは走りたくないから、しょうがないから自転車が歩道を走ったり、あとは、せっかく段差がないのに、そういうところを車や物がふさいでいたり、点字ブロックでもそういうのはよくありますよね。だから、これは、都市基盤のところで言ってもしょうがない問題でもあるんですけども、いくらハードを整えても、これではいたちごっこだなど思うことがすごくあるので、そっちの啓発もできるとういんですよね。

「バリアフリーになりました」と広報を打つときに、こういうふうになっているから、こういうことはやらないでくださいとういのをセットでお伝えしたり、バリアフリーにした意義が正しく伝わるとういのかなどと思います。

あとは、101 ページの道路ネットワークですけども、都市計画道路は何十年も前に決められた計画が実行されずに残っていたりして、その当時に立てた、こうしてほしいとうい希望と必ずしも一致しないとういのがあると思うんですね。例えば、昔は、ここを整備して車を通してほしいと思っていたけれども、今はカーナビで住宅街まで車が入り込んでくるようになってしまったじゃないですか。そういうのを考えると、ここの道はいつそ整備しないで、防災の消防車が入れるぐらいの幅があれば、それ以上は望まないでいいとか、変わってくるとういがあると思うんですね。あとは、公園をつぶしてまで、ここを道にしなくてもいいとか。

例えば、女子大通りみたいなどころは拡幅がある程度必要だとういと思うんですけども、

私の家の近くでは遊歩道をつぶして道路の幅を広げようという、片道2車線の道路にしようという計画があったんですけども、それも、今思えば、調布のほうから五日市街道まで広げる都市計画が、それは東京都の計画だったんですけども、あったんですね。昔はそれでよかったのかもしれないですけども、今は車の台数も増えているので、その道を五日市街道まで通したとしても、五日市街道が広がらない限りは、余計車の流れが詰まるだけだったり、その当時だったら問題なかったであろうことが、今はそっちの問題を解消しない限り、これをつくっても無駄だという道路があるので、そういったものの見直しも必要なのかなと思いました。

あと、さっき市から説明があった中で、空き住宅の活用ですけども、空き住宅の活用が必要だとは思いつつ、相続とかでもめている訳ありの家が結構あったりするんで、これを市だけでどれだけできるのかというのがすごく難しい問題だなと思うのと、あとは、空き住宅がすぐに活用できる状態なのかという問題があって、住宅がすぐに活用できない状態だったときに、何を目的にするのかでいろいろ変わってくるでしょうけれども、それを市がどの程度お金を出して回収して活用していくのかというのも、長い目で考えないといけない問題なのかなと思いました。

とりあえずそれをお願いします。

○Q委員

P委員をお願いします。

○P委員

一部、先に言っていたいたところもあるんですけども、私が思ったのは、五日市街道はかなり問題があって、あれはすごく狭いんです。片側2車線で、歩道があってという形で。なおかつ、バスとかいろいろな大型のものがよく通るので、多分、観光バスが必ずあそこを通るんですけども、すぐできる問題かどうかは別ですけども、バスとかは、何年か前から、一部、停留所のところだけ引っ込めて、渋滞が起きないようになって、これはいいなと思っていたんですけども、角でどかない住宅もあって、そこだけ異様に危険な状態になっていたりして、時々自転車で見たことがあるんですけども、ぶつかっている人たちがいたりとか、要は、角で見えないんです。1人のところが急に狭くなって、道路だけではなくて歩道が狭くなって。あれを何とかできないかなという身近な問題があって、多分五日市街道は全部そうで、都心に行ったときに、車で帰ると、都心の渋滞より吉祥寺の渋滞のほうがすごくて、多分、東京都で一、二を争う渋滞する場所だろうなと思

うような使いづらくなっているんで、そこは何とか考えができないかなというのが。難しいんでしょうけれども。迂回路を1つつくるということも、あとは、地下に通すとか、お金がかかるのでどうにもならない。そこはどうにかならないかと思っています。

あと、自転車の道路をもうちょっとつくってほしいなと思っています。武蔵野市は、わりと緩急がないというか、平地なので、自転車を使う方には便利なんです。私はそこも気に入っているんですけども、問題なのは、自転車の専用道路がないものですから、道幅が狭いところは、バスに時々かすめられながら、服がすれていくときとかありながら、怖い思いをしながら。子どもには、できるだけそこは通るな。怒られてもいいから歩道に行きなさいと言っているんですけども、あれはそのうち事故が起きるだろうなと思って。ほかの道路も含めてどうにかと。そこは思っています。

あと、勝手に思っているんですけども、最近、住宅が増えてきて、都市計画をつくってから、人の流れが変わってきているので、ムーバスはすごくいいなと思っています、できたときに、何度か最初は乗って見たんですけども、今は人が多くなってきているとか、例えば、子どもの通学の時間帯に使えないとか、使えるところ、使えないところとあるんですけども、それとか、あとは、高齢者の方がバス停まで行くのが、この暑さだったら、そこまで行くのに倒れて死んじゃうみたいな状態になってしまうと、変な話ですけども、そんな危険性もあるぐらいの状態なので、ムーバスをもう少し通してあげたらどうか。迂回の方法とか、路線を見直すという形。市のバスとか、関東バスが通っているからいいや、じゃなくて、その間で入れないところというか、ムーバスだと入れる場所があって、あれは本当にすばらしいなと思って見ているので、路線を見直して、それだったらそんなにお金がかからないから、運転者が必要だったら、若い方の雇用にもなるし、ぜひ見直してほしいなと強く思っているところです。

個人的に三鷹の駅前開発、自転車のあそこをどんどん狭めていくのはやめてほしいなと。今、使わないで、定期で6カ月ごとに契約していたのを、だんだんそこにいられなくなって、一時利用しなさいとか、昔、梅林だったタワーズの地下を使いなさい。値段も高いんですね。最初、すごい安くやっていたのを、だんだん、値上げして行って、どんどん追い込まれて行って、自転車を使わなければいいのかもしれないですけども、結構そういう方がいて。

〇〇委員

八幡町からだったら自転車は必要ですよ。

○P委員

必要なんです。市の計画だから仕方ないですけども、あれだけ自転車を置いていたのを、今、コロナで人が変わって、在宅がふえたら、ガラガラなんです。ガラガラなのに、その計画を進めても仕方ないのではないか。ガラガラとは言いませんけれども、この間、上下2段でいっぱいだったんで、それはわかるかなと思ったんですけども、コロナで状況が変わったので、それを見直していただけないかなと。

○N委員

それは何ですか。ガラガラだけど何が起きているんですか。

○P委員

AとBと2つあって、こっち側のほうが定期で6カ月で申請して、マナーとか講習を受けたりして使っていたんです。ところが、これは今度廃止しますから、一時利用か違うところを使ってください。違うところに行くんですけども、違うところはタワーズの下で、値段が高かったり。

○N委員

減らしてしまうということ。

○P委員

そのうち、もしかしたら、減らして売るのがかもしれないですけども。

○Q委員

あの2つは市の土地なんですよ。

○P委員

吉祥寺の二の舞になるのかもしれないですけども。

○Q委員

もしかしたら、今、ある両方を開発するために売る可能性が。

○P委員

あると思います。あそこは高いから。だから、市がもうかればいいんですけども、ちょっと不透明だなと思っていて。

○Q委員

確かに駅前の一等地ですから。

○P委員

あの梅林だって、変な話、農家さんがやって、春は梅がきれいで、緑が多かったんです

けど、親戚から養子を向かえたから、その親戚に怪しげな人たちが近づいてきてとられたみたいですよ。

○Q委員

しばらく放ってありましたものね。きっと相続でもめているんだろうなと思っていただけでも。

○P委員

相続ではなくて、全てなくなっていますから。うわさになっていました。その前の蕎麦屋さんでそういう話を聞いたんですけれども。いいんですけれども、駅前の土地をもうちょっとうまく使って。半分空いたら、半分売ってもいいんですけど、ちゃんと市のために使ってもらって、もうちょっと利便性のあるようにしてもらえれば。これは個人的な意見ですけれども、市の駐車場の配分を見直してほしいと思っています。見ればわかるんです。昼は、一番多いときでもいっぱいになることはないんです。上下全部埋まることはないし、設備はいいのを入れているから、ちょっと使いづらいのもありますけれども。もったいないというか、なんというか、うまく。それだったら、このままにするか、半分にして、わざわざ一部の人が追いやられないという、すいません、勝手なこれは意見です。

○N委員

ここに何か書いてありますよ。自転車駐輪場・駐車場として使用されている市有地については、現在の機能を確保しながら、より有効に活用されるように見直すと書いてある。

○P委員

それは定期券じゃなくて、多分 100 円か 200 円の駐車場。多分それもだんだん上がっていくんだろうなと。

○N委員

毎回払いになって。

○P委員

毎回払っているんです。使い勝手がすごくやりにくい。やっているんですけれども、あれはもうちょっと、あれだけ空いているんだから。売るなら売っていいんですけれども、市役所をつくり直すというのだったら、それはそれで構わないと思うけれども、何となく追いやられてしまっている。すいません、不満を。

○Q委員

M委員お願いします。

○M委員

これはちょっと難しい問題というか、あれなんですけれども、武蔵野市は3つの駅の周りがすごく開発がされているんですけれども、はっきり言うと、そこを出ちゃうと、その後、何なの？というような感じがありまして、例えば、ライトアップというか、LEDライトがあるじゃないですか。きれいなところもあるんですけれども、例えば、三鷹駅の通りの両サイドのクラゲみたいな白いライトは、あれはちょっとイケていないかなと思って見ていたりとかありまして。あれは、人寄せのためなのか、それとも、市民へのサービスなのか、私としては個人的に意味がわからなくて、六本木とか新宿とかでしたら、ものすごいライトで、きれいだわねという感じで人集めの効果はあると思うんですけれども、武蔵野市の3つの駅はどうかというのにはあって。もしやるなら、もうちょっとまじめに力を入れて。何のためかというのが私は思っていたりします。

○N委員

境はわりときれいでしたよ。

○M委員

自分は武蔵境の駅はよく使うんですけれども、なんですかねという感じは。

○O委員

フォトスポットかよと思うことが。

○Q委員

境の駅前はそのようなライトアップしたり。

○O委員

境の駅前もクリスマスの時期はやるんですけれども、海外へ行って勉強してこい、と思うことが正直あります。

○Q委員

南口も北口も。

○M委員

そうですね。確かに吉祥寺もいっぱいしているんですけれども、ある意味イケていないかなというのがあって。すいません、頑張ったださっている皆様にはまことに申しわけないコメントで。

○N委員

三鷹駅の三鷹通りのライトアップというか、あれはあまり美しくないですよ。

○M委員

逆に、LEDとかではなく、落ちついた感じの本当の光、明かり、ちょっと黄色いっぽい感じの明かりのほうが、帰ってきたときにすごく癒される。そういうイメージのほうに新たに展開していったほうが逆にいいのかなと思って。だって、LEDはどこでも今はやっているじゃないですか。武蔵野市のこれだということを考えてほしいかなというのが。人を集めたいのであれば。

あと、空き家の問題ですけれども、空き家の問題は、お子さんがいなければ、必ず待っている問題じゃないですか。だから、ぎりぎりで、どうしようか、ああしようとかではなくて、この間も言ったんですけれども、50歳代ぐらいから教育とか情報とかをきちんとやって、将来、どうするつもりですかというのをもっとちゃんと市民に考えてもらって、どうするかというのを市も強力に進めていかないと、空き家問題はどんどん進んでいって。でも、50代ぐらいで考えれば、実際にどうかなというのは、イメージできて、20年後ぐらいに住めなかったら、その前にこういうふうに考えていきたいと思いますとか、そういうものをもっとちゃんとやったほうがいいのではないかと思います。

それから、交通量は武蔵野市は増えているんですか。

○事務局

場所によると思います。

○M委員

タワーマンションが建っている、駐車場ができたようなところとか。

○事務局

1本1本のは交通量調査があるので。ただ、増えているところ、減っているところは、どうしても。ただ、基本的にはコロナ禍では全体的に交通量は大きく減っているとは思いますが。ちゃんと数字をもらっていないんですけれども。

○M委員

部分的なところがあるわけなんですね。そうすると、五日市街道は狭いし、井の頭通りも狭いしということで、急には難しいというのはあるので、今、何というのはないけれども、地道に市のほうで計画を立ててやっていってもらえないのかなとは思いますが、武蔵野市の中だけ考えると、高齢者の割合が高くなれば、車を手放す方は増えてくるだろうけれども、タワーマンションとかマンションが増えてくると、若い世代の人たちは車を購入すると思うんですね。でも、それは一部で、生活が回っていかないと、車な

んて手が届かないので、今はシェアというところに若い人たちが走っていますから、本当に二極型だと思うので、市もその都度、調査をして、どういう形が一番いいのかというのでやっていくしか、長期的な見方は難しいかなと思います。

駅だけではなくて、もうちょっと広い視点で人をばらかせて、もうちょっと特徴のある街並みをつくりつつ、バリアフリーというか、電線の地中化も進めていただければいいかと思います。

○Q委員

ありがとうございました。

○P委員

1点。電気が、街灯はあるんですけども、この何年かでLED化されたんですね。

○事務局

進めています。一気に変わって、小型が終わって、今、大型をやっているところです。

○P委員

あれのおかげで、娘がいるんですけども、ちょっと安心して。前は暗くて怖い。変な声が聞こえたときもあったので、すごく治安が。公園とかもLEDになって明るくなっていて。

○事務局

コストとか明るさを考えると、どうしても選択肢としては、ライトアップはご意見がありますけれども、道路の街灯は基本的にはLEDに置き換えています。

○P委員

すごくあれはいいなと思っていて、ありがたいなと思っています。すいません、そこだけ。

○N委員

1点いいですか。これは質問ですけども、102ページの外環道路。外郭環状線。これは武蔵野市の地下を通るんですか。

○O委員

そういう部分もあるみたいです。

○事務局

外環でぐるっと回る環状を通すときに、練馬、武蔵野、調布辺りは全部地下の計画なんですね。調布が陥没ですごいニュースになったところですけども。2つあって、外環は

下を通る。国とか都の計画だと、外環を通す上には、外環の2という地上部も道路を通しますという構想があって、それをどうするかというのがより市に影響が。

○N委員

だから、外環の2というのは地上なんですね。

○事務局

地上部です。

○N委員

これは同時に動いているんですね。

○事務局

時間で言えば、タイムテーブルで言えばずれがありますけれども、計画としては一緒です。

○N委員

地上というのは、用地買収で何十年もかかりますよね。

○事務局

なのでスピードは違うと思います。

○N委員

2は置いておいて、地下のほうは、武蔵野市、あるいは市民にどういう影響があるのか。陥没とかがないとして。

○事務局

基本は、まず安全面が大丈夫かを不安に思われている方がいる。陥没とかそういう工事の。もう一個は、上に排気する場所ができるんです。その周辺は、いろいろケアはやっていますけれども、当然、そういう影響があるということで、ほかはすごい下を通っているので、わからないというか、あれですけども、大きくは、工事における何かがないかということと、上に換気するところ、結構な設備になるので、そこの影響だと思えます。

○N委員

周辺に環境影響は相当あるんですか。

○事務局

ある、ないというのが、何をもって。地上部をつくったところは当然出るので、ほかと同じようなので、気になる方はほかのそういう地上部を見に行かれたりとかは。

○P委員

煙突みたいなのが建って。

○事務局

少し高くして、それをどの程度かというと、何ともあれですけれども、どうしてもそういう場所が必要になる。今は多分調布の陥没があったので、そっちの心配をされている。そこはどことも通っている場所、全部可能性はあるので。

○R委員

あまり個別な意見ではなくて、大きな話で申しわけないんだけど、この計画ができたときの背景を考えてみたときに、都市計画の長期プランは、車社会の変容をどこまで考慮しているのかなというのがとても気になりました。というのは、私自身もある年齢がきたら車を運転しないだろうし、その高齢者が増えてくるだろうし、若者は自分の家に駐車場を持たないで、カーシェアリングをするかもしれないんだけど、車そのものの台数は減るといって立っている都市計画の先生たちもいるのではないかと思って、そこがどうも読み切れていないですね。マスタープランも、まちづくりだから、あまり車は関係ないと言われては、関係ないのかもしれないけれども、これだけの道路網があって、電柱の問題だとか、いろいろな問題を抱えているときに、どうしても車ありきで、現状のプランではないのかなみたいな気がしているので、もう少し車社会の変容。トヨタが富士山のふもとにつくる都市計画みたいなものを見てみたいなども思うんだけど、車をつくっている会社だから、どういう発想でどんなまちづくりを考えているんだろう。長期的な視野で、いわゆる都市の、武蔵野市のインフラを道路状況を踏まえて考えてほしいなとは思いました。

大きな話ばかりして、個別な話は実態がわからないということもあって、すみません。

○O委員

101 ページの上の薄い青で囲んでいるあたりにまさに載っていて、必要なところは、例えば、道をどうしても広げなければいけなかったりとか、防災上、整備しなければいけないところはありつつ、市独自の判断で、市だけの意見でここ中止と言えない道路計画に対しても働きかけをしていくというようなことなので。

○R委員

意見は出ているんですか。

○O委員

はい。ということの書き込みだったと思います。

○Q委員

これだけではなくて、個別計画とかいろいろ計画があるんでしょうね。

○R委員

そういう視点でちゃんと考えてこれができているということを聞いて、安心はしました。ただ、具体的に書き込むのはいいんだけど、将来の都市計画のマスタープランの中に読み切れるところが全くなかったんで、どういうふうに考えているのかなと思ったんですけども、きっとそういうことをきちんと考えて長期計画というのはなされているんだろうなと期待はしていますけれども。

○P委員

時代が変わってきますから、どっちにいくかはわからないですけども、おっしゃるように、変わっていったら、それに合わせてまた書き替えていくのが大事なんだろうと思います。だから、大きな話が。計画自体というか、このタイトルが大きいから、多分大事なんだとは思いますが。でも、そこも含まれているということでしょうから、その都度。

○N委員

これは、減るか増えるかとは書いていなくて、変化に対応する。

○Q委員

どっちとでもとれる。

○R委員

一般的には車は減ると思われているんじゃないですか。

○O委員

そうとしか書けなかったり、あとは、市だけでつくる、つくらない、判断できないものに対して、減らしていきますと言えないじゃないですか。

○Q委員

そうですね。

○O委員

外環とかも反対とかと言えないじゃないですか。

○Q委員

言いたいけど言えない。

○P委員

外環は、その辺を通るはずだったのが、ずれてあっちに行きますよね。この辺を通すと

いう話があったらしいですけども。

○R委員

ただ、ヨーロッパの都市の計画を、私も専門家じゃないからわからないですけども、脱車社会というのを打ち出していますよね。自転車の活用だとか、シェアリングのシステム。カーシェアリングももっと有効に使えば台数が減るわけだから、まちづくりの中の1つのキャッチフレーズに、私たちはこういうふうにしますというのが書かれている都市もあるんです。だから、そういうことも武蔵野市の中にあってもいいのかなという気がしたんですね。すべきではないんですかね。そういうのはあんまり言ってはいけないのかな。

○Q委員

そこまで踏み込めるのかどうかですね。

○○委員

でも、皆さん結構車に乗っていますよね。私は免許があるけど、車は乗らないし、運転しないんですけども、武蔵野市はそんなに車が必要かなと思うんです。

○Q委員

全然必要ないですね。私も乗っていない。

○○委員

でも、皆さん持っているじゃないですか。だから、そういうことなのかなと思っています。

○Q委員

でも、今の学生は、免許は身分証明書がわりにはとるけど、乗らない子のほうが増えています。

○○委員

あと、私ぐらいのあれだと。

○R委員

そういう人たちが将来主流になるとすると。

○○委員

日常的にまちにいないから、カーシェアリングで必要なときには車を借りて、自分では持たないという感じですね。ただ、片働きで、片方が子育てしていたりというと、車を持っている人もいますけれども、両極という感じですね。ただ、子どもがいるから車を買いますという人は、そういう土地から来ている人が多いですね。私は自分が都内で育って、

子どものころ、特に車に乗ってどこそこに親が通わせるというのが文化的になかったので、子育て、武蔵野市は車がなくても全然余裕じゃんと思うんですけども、自分がそうやって育っていると、子育て、車必要となるのかなと思います。

○R委員

個人的に、私もまだ車を運転しますので、別に車がいけない云々の話ではなくて、将来の脱車社会という方向性がもしきちんと市民に受け入れられるならば、僕は受け入れられると思うんですね。想像しかないんですけども、若い人たちは、今の自分の息子たちを見ていると、そんなものなくても生活していけそうなライフスタイルなので、何か打ち出していく意味があるのかなと思うんですけども、個人的に私自身が車を運転してはいけないとは思っていない。将来的に10年とか先を見てみると、ひょっとしたら変わっているかもしれないと思いました。

○M委員

課題が前の課題になってしまうんですけども、この間、京都に行ったときに、京都は観光地だから、バスがすごく発達しているじゃないですか。回っているんですけども、いつも満員で、それが観光客じゃなくて、高齢者の人。要は、地域住民の人がどんどんバスに乗ってくるんです。バスに乗れるというのは足腰がちゃんとするというので、バスを使っているところなどに出かけているので、武蔵野市も、例えば、高齢者が免許を返納して、じゃ、車はどうする？というのを何とか解決するんだったら、ムーバスの整備で、高齢者の人もどんどん外に出していくことによって元気を保つことができるので、健康を保つことができ、最初に議論した介護のところにつながっていくというのもありまして。

○R委員

大賛成です。

○M委員

今回の議題はそれとは違っているなので、車の話になってしまったのであれなんですけれども、そういうことも必要なのかなというか、ほかの議題とタイアップしながら考えていくということは必要かなと思います。

○P委員

それ、いいと思います。ムーバスをもうちょっと。

○Q委員

ムーバスは関東バスに相当な額を払っているんですよ。だから、1人当たりの負担と

いうのは結構我々も。

○M委員

逆に、ムーバスというあの大きさを変えてしまうような、180 度転換した違うものが必要かということはありませんね。

○P委員

住宅街を走れるから、あれを使っている人が結構いるから、ちょっとでも増やして。

○M委員

関東バスとか西武バスとか、ある程度走るところが実際に決まっているじゃないですか。それよりも違うほうに目を向けて利用者を増やしたり。

○Q委員

今の 100 円が適正なのかどうかというのはよくわからない部分で、気軽に乗れるけれども、本当に一律 100 円でいいのか。お年寄りはいいですけれども。

○R委員

今の技術革新からいくと、運転手なしの、もっと小型のムーバスを購入さえすれば、自動運転できるというのはそんなに遠い未来の話ではないと僕は思っているんです。そういうことを考えて今議論しておかないと、誰もこんな現実の問題として、誰もというか、捉えられないので、こういうところで議論を深める可能性はないのかなみたいな気持ちになってしまうんですけれども、どうなんですか。

○P委員

でも、先を見て考えていたほうがいいですよ。先過ぎてもだめだけど、10 年ぐらい先のことは考えながらやらないと、変わりますから。

○R委員

と僕は思っているんですけど。でも、プランを出しにくいんですかね。都市計画のマスタープランとか、実際にある技術じゃないし、どこまで自動運転が可能かどうか、検証はしているわけですね。いろいろな自動車会社が。運転手のコストはランニングコストの中で結構大きいと思うんです。そういう意味も含めて、都市の基本計画の中に入れられるといいなと思いました。

○P委員

ムーバスが走っているところはどこかに書いてあるんですか。

○Q委員

結構走っているんですよ。

○P委員

ムーバスが空白地域を回って、ここは関東バスがあるからとかということですけど、一定のところしか走らないから、ムーバスを増やしてほしいなと思います。多少遠回りでもいいから。結構便利なんですよ。細いところからおばあさんが入っていったりするの。近いとすごく助かると言っていました。

○R委員

これが100円という設定というのは、どういう経緯。無料という話は最初からなかったんですか。

○O委員

今は150円になったんじゃないですか。ムーバス、値段が上がりましたよね。去年、おとしぐらい。そういう議論があっただけでしたっけ。

○事務局

100円だと思いますけど。

○N委員

昨日乗ったら100円でしたよ。

○O委員

じゃ、そういう議論があっただけですね。回数券がなくなっただけだ。

○R委員

無料というのは、絶対に市としてはあり得ないですか。

○事務局

いや、費用負担を誰がするかの問題なので、そうするとみんなが多く。一番最初できるときに、高齢者の議論はあったと記憶していますが、高齢者の足がメインで始まったのを無料にすると、福祉バスのようなそこにすごいお金を注ぎ込むことになるので、みんな100円にしようという議論があったというのは、最初のころにあったと思います。ただ、それは皆さんのお考えなので、みんなが特に負担してもいいから無料がいいという意見が強ければ、当然可能性はあります。お金は絶対かかりますので、どう負担するかの話。

○Q委員

競争できないんですよ。関東バスと西武バスと競い合わせて、少しコストを下げる。

○事務局

要は、どこかの路線バスの影響ができるだけ少ないように調整をさせて走らせていただくので、そうすると、そこでさらにとなると、もともとバス会社はそんなに儲かるようなあれではないので。

○P委員

だから、時間も普通のバスとか通学時間に合わないようにしている。

○事務局

時間は、住宅地を通るんですけれども、通させていただく調整で、最初のころ、便利なんだけれども、家の前を通るのは嫌だというか。しかも朝とか深夜に通るのかという話があったというのは聞いたことがあります。

○P委員

ありがとうございます。でも、増やしてほしい。駅から遠いところなので、増やしてあげてほしいなと思う。

○事務局

多分、やろうとすると、どれも課題はあるからあれなんでしょうけれども、皆さんのご意見として言っていただくのは、それも1つのご意見なので、無料という考え方もあっていいし、もっと時間を延ばしてほしい。実際、路線によっても時間が違いますので。

○R委員

ぜひやってください。

○Q委員

ぜひ、年取っている人のところの範囲を、回り方を少し変えるとか。

○事務局

路線は今までも何回か微調整で変えていることはありますので、ご意見でいただいて。

○R委員

ただ、元気な人は歩けばいいので、100円セーブするために、僕も吉祥寺まで歩きますけど。ムーバスに乗れるんだけれども、急いでいないときは、そういうこともあるから、脱車社会という発想からすると、無料だと僕は思っています。

○P委員

駅前の駐輪場をどこかの会社に半分リースにして、その費用でムーバスを無料にしましょう。

○M委員

今回のお題は、儲けて何かという感じじゃない議題なので、すごくやりづらい議題で、最たるものという感じですね。

○P委員

都営水道の一元化の推進というのが私はわかっていないですけども、前は武蔵野市は全部井戸水で、一部。

○事務局

昔から全部は無理で、逆に水道の節水が進んだので、井戸水が今は8割ぐらい。昔は7割ぐらいだったのが、残りのものを都から買っているという状態です。

○P委員

これは、災害用に井戸水のところ、何箇所か設けていたりしませんか。

○事務局

水道のというよりは、学校に掘って、普通のほうは水道管のほうにつながっているのが、今、学校にそれぞれ井戸があって、そっちは即のめるかという、どちらかという、飲料水は別に確保して、ほかの水のほうを使う量が多いので、そういうのは井戸水。

○P委員

菌がいます。

○事務局

一応、検査とかして、あまり。ただ、飲料用水としては。

○P委員

ありがとうございます。

○O委員

一応、簡単なる過装置も一緒に学校にあるんです。今度、学校とかそういうので、防災訓練とかが地域防災ネットワークの方とかがやることがあったら、見に行くと、そういうのを見せてもらえたりするのでいいですよ。

○事務局

ペットボトルがあるときは、そちらを飲んでいただいて、より、いざというときに。

○P委員

市から震災のいろいろなものを配ってくれて、突っ張り棒とか。最近はないですかね。

○O委員

そうですね。何年前、うちもあれで突っ張り棒をもらったことがあります。

<発表>

○Q委員

それでは、Cグループから発表させていただきます。

まず、都市計画のマスタープランですけれども、これを作成するとき、ワークショップをされてやられたということで、そこでは問題や課題を出すということではなく、まず、あるべき姿、ビジョンから考えていったということで、すばらしいやり方だったなという評価の話がございました。

このマスタープランにかかわる、特に道路問題についてですけれども、車社会が今後どうなるのかということを考えてそのマスタープランができているのかどうか。今後、車が減っていく可能性は非常に高いとも言われているが、むしろ、脱車社会を目指すとか、そういうビジョンを武蔵野市が出して、それに基づいて道路計画も見直していくという考え方もあるのではないかということです。

さらに、道路計画の観点から言いますと、ムーバスをどう活用していくのかということも話として出ました。路線について、今でも十分でしょうけれども、それでも通っていない地域があったり、あるいは、高齢者の多い地域ですとか、マンション等が建って急に人口が増えた地域に回すとか、いろいろな考え方があるでしょうけれども、現状に合ったムーバスのあり方を考えていく必要もあろうという話がございました。

これから具体的な話になりますけれども、まず、まちづくり。生活困窮者。特に若い方でテレワークもできないような職種についている若者も多いかと思えますけれども、そういう方たちをどうやって支援していくのかという視点が入っているのかどうかというのが読み取れないので、その辺の視点をきちっと打ち出していく必要があるだろうということ。

あとは、道路問題にもかかわりますけれども、具体的には、吉祥寺駅南口の井の頭通り、丸井の前にバス停がずらっと並んでいますけれども、非常に渋滞の原因になっておりますし、南口の開発というのは、書いてありますけれども、土地買収等々の問題もあろうし、非常に難しい問題はあろうかと思えますけれども、非常に大きな課題として推進していただきたいという話がございました。

あと、通学路です。特に小学生、中学生の通学路ですけれども、時間帯によって車が入ってこない規制をしておりますけれども、朝早い7時前とかですと、普通に大型車も通るということです。子どもたち、朝早く通学するということもありますので、その辺、もう

一度安全対策の点検をする必要があるのだろうということ。ただ時間制限だけすればいいという話ではなくて、実態をもう少し見ていただきたいという話がありました。

次に、バリアフリーのことですけれども、いろいろな形でバリアフリーの施設というか、ハードが整ってきているのは、非常に好ましいことであると思いますけれども、実際には、そこに住んでいるというか、そこにかかわる人たちの意識の問題があるだろうということ。例えば、自転車専用道路等ができたりしていますけれども、そこに平気で車が駐車していて、自転車道路を通れない。だったら歩道を通ってしまうだろうということもあつたりしますので、その辺、我々市民の意識もきちっと向上させていくような啓蒙活動等も必要だろうという話もございました。

あと、道路計画ですけれども、都市計画道路、相当以前の計画が実施できないで残っているというのも相当ありますけれども、その計画がその当時の計画思想そのままがいいのかどうか。今の状況に本当にマッチしているのかどうかということをもう一度点検する必要がある。不必要な部分も当然現状ではあろうかと思しますので、その辺を見直す必要もあろうということです。

あと、空き住宅の問題も話として出ました。空き住宅の活用は当然必要なんですけれども、どの空き住宅もすぐ必要なのかどうか。状況を見る必要があるし、もっと言えば、例えば、50歳ぐらいから、一戸建ての方についてはそういう問題が出てきますので、もっと早い年代からそういう問題があるんだよというほうで働きかけをして、自分たちの意思を確立していくことも必要だろうという話も出ました。

あと、五日市街道は非常に狭い。渋滞が発生していますので、これの拡幅もさらに進めていただきたいという話がありました。

あと、三鷹駅前の駐輪場。一部市の駐輪場がありますけれども、これについて売るといふ話も一部出ておりますけれども、その辺、三鷹駅前の開発とともに、自転車置き場のあり方についてももう一度考え方を示していただきたいという話がありました。

あと、各駅前のライトアップを進めておりますけれども、これは何のためにやっているのか、目的は何なのか、本当に必要なのかということをも市民の皆さんの意見も踏まえながら、もう一度考え直していく必要もあるのかなという話です。以上でございます。